

# 進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

## I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	社会学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.2 教育課程・教育内容
小項目	6.2.1 教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。
要素	必要な授業科目の開設状況 順次性のある授業科目の体系的配置 専門教育・教養教育の位置づけ(学部) コースワークとリサーチワークのバランス(院)
小項目	6.2.2 教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供しているか。
要素	学士課程教育に相応しい教育内容の提供(学部) 専門分野の高度化に対応した教育内容の提供(院) 理論と実務との架橋を図る教育内容の提供(専院) 初年次教育・高大連携に配慮した教育内容(学部)

## II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

### 【現状の説明】

#### 《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 4年間の演習教育の各段階で求められる到達目標を明確化する	→ 4年間の演習教育の各段階で求められる到達目標への学生の到達度	B
2. 講義科目(3系7領域科目)の順次性・段階性を明確化する	→ 講義科目(3系7領域科目)の順次性・段階性の明示と、学生の履修状況	B
3. 初年次教育(基礎演習、社会学リレー講義)の成果を検証し、必要な改善を行う	→ スタディスキルの修得と、学部教育への展望の獲得についての教員の評価および学生の評価(授業評価)、具体的改善内容	A→B に変更

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

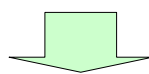
### 《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目6.2.1	(方針) 学位授与方針に基づき、基礎演習(スタディスキル)から始まり研究演習(卒業論文を含む)に至る4年間の演習教育を必修科目とすることによって、論理的・実証的思考力や問題解決能力を育成し、3系7領域に及ぶ幅広い講義科目を選択科目として配置することによって、社会学を核とする幅広い学際的な知識に基づいた柔軟でバランスのとれた思考力と、現実社会との実践的な関わりに基づいた優れた問題解決能力、そして急速に進むグローバル化に対応した視点を育成する。  (現状説明) 教育課程の編成・実施方針に基づいて、4年間にわたる必修の演習科目および3系7領域にわたる選択の講義科を適切に開講している。
☆ 小項目6.2.2	(現状説明) 初年次教育では、「基礎演習」によってスタディスキル(大学で学ぶための基礎的技能)を身につけさせる教育内容を、「社会学リレー講義」によって幅広い学部教育への展望を与える教育内容を提供している。
☆ その他	

## ◎効果が上がっている事項

## 【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目6.2.1	
★小項目6.2.2	
その他	



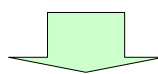
## 【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目6.2.1	
★小項目6.2.2	
その他	

## ◎改善すべき事項

## 【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目6.2.1	
★小項目6.2.2	
その他	



## 【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目6.2.1	
★小項目6.2.2	
その他	

## ◎自由記述

## 【点検・評価】&amp;【次年度に向けた方策】

★その他 (自由記述)	
----------------	--

## Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

## 【学外委員】

- 「目標・指標」3の進捗評価は「A」ですが、初年次教育の成果がどのように検証されているのか具体的な説明が必要でしょう。
- ほかにも、6.1の「目標・指標」3と4も「A」評価ですが、高評価の項目については「効果が上がっている事項」に記載されることが望まれます。

## 【学内委員】

- おおむね明確な記述がなされています。
- 授業科目が適切に開講され、学部の教育課程の実施方針に基づいて適切に実施されている点は評価できます。ただ、現状に甘んじることなく、絶えず良い内容に改善していくことが望まれます。
- 初年次教育の成果の検証については、評価指標と現状説明の間に不一致が見られますので、改善することが求められます。

## Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

(6.2.2に追加)「基礎演習」については、全担当者から成る「基礎演習編成会議」(月一回開催)において教育効果を検討し、(教育内容および教育方法についての)必要な改善を行っている。また、「社会学リレー講義」については、コンビーナーを中心に、学部長室委員会および教授会において教育効果を検討し、教育方法や教育効果測定の方法などについて、必要な改善を行っている。

**V. 本項目の評価指標**

## &lt;全学的な指標&gt;

6.2.0.S1	カリキュラムの編成や体系等を常に検討する委員会の有無と開催頻度
6.2.0.S2	MDSプログラム履修者の全学生に占める割合
6.2.0.S3	ジョイント・ディグリー制度への参加者の全学生に占める割合
6.2.0.S4	専門教育、教養教育、外国語教育、情報教育等ごとの開設授業科目数

## &lt;個別的な指標&gt;
